

第 25 回介護福祉士国家試験【午前分（問題 1～問題 68）】

やまだ塾の解答速報(1月27日実施分)

2013年1月29日 13:00 掲載

- 変更はその都度行う。(変更分は青字で表示する)

科目	問題	やまだ塾の解答	(参考) 簡易解説
人間の尊厳と自立(2問)	1	③	<p><介護福祉士が誠実に業務を行うことを明示した法律></p> <p>③社会福祉士及び介護福祉士法第42条の2(誠実義務)に明記されている。</p>
	2	⑤	<p><罹患した感染症></p> <p>⑤ハンセン病は、現在では外来治療において、化学療法を中心とした治療を行い、確実に治癒する病気となっている。</p>
人間関係とコミュニケーション(2問)	3	②	<p><介護職と利用者のコミュニケーションを促す場面づくり></p> <p>②対面法は、対決をする形になり、緊張を強いるので、それをさける工夫として花瓶を置くのは適切である。</p>
	4	②	<p><感情の反射を用いた返答></p> <p>②「感情の反射」とは、話し手の気持ちを受け止め、話し手の想いをそっくりそのまま返すことである。</p>
社会の理解(12問)	5	①	<p><育児と介護></p> <p>①「育児・介護休業法第2条第1項において、「育児休業」をすることができるのは、原則として1歳に満たない子を養育する男女労働者とされている。</p>
	6	③	<p><限界集落を定義するときの人口構成></p> <p>③「限界集落」は、必ずしも明確な定義が確</p>

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2013 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

		立していないが、代表的なものとして、高知大学名誉教授大野晃氏の定義によれば、「65歳以上の高齢者が集落人口の半数を超え、冠婚葬祭をはじめ田役、道役などの社会的共同生活の維持が困難な状態に置かれている集落」とされている。
	7	⑤ <日本の社会保障> ⑤日本の社会保障の主な目的は、(1)生活の保障・生活の安定、(2)個人の自立支援、(3)家庭機能の支援、と厚生労働白書で明記されている。
	8	② <国民年金の被保険者> ②1982年に、被保険者の資格要件の国籍要件が撤廃された。
	9	⑤ <介護保険制度> ⑤2006年4月施行の「改正介護保険法」により、新予防給付・地域密着型サービスの創設などが行われた。
	10	④ <介護保険審査会の設置主体> ④介護保険法第184条において、「介護保険審査会は、各都道府県に置く」と規定されており、地方自治法上の附属機関である。
	11	③ <介護支援専門員(ケアマネジャー)> ③介護保険法第69条の7第3項において、「介護支援専門員証(第5項の規定により交付された介護支援専門員証を除く。)の有効期間は、5年とする」と規定されている。
	12	② <障害者自立支援法における「障害者」の定義> ②障害者自立支援法第4条第1項において、「身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者、知的障害者福祉法にいう知的障害者のうち18歳以上である者及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者(発達障害者支援法第2条第2項に規定する発達障害者を含み、

			知的障害者福祉法にいう知的障害者を除く。以下「精神障害者」という。)のうち 18 歳以上である者をいう。」と規定されている。したがって、65 歳以上の障害者を含むものである。
	13	④	<p><地域における障害者の自立支援のシステム></p> <p>④障害者自立支援法第 21 条第 1 項において、「市町村は・・・市町村審査会が行う当該申請に係る障害者等の障害程度区分に関する審査及び判定の結果に基づき、障害程度区分の認定を行うものとする」と規定されている。</p>
	14	④	<p><日常生活自立支援事業の利用を相談する機関></p> <p>④実施主体は、都道府県・指定都市社会福祉協議会であるが、窓口業務等は市町村の社会福祉協議会等で実施している。</p>
	15	③	<p><個人の権利を守る制度></p> <p>③社会福祉協議会の「専門員」は、困りごとや悩みごとについて相談を受け、本人の希望をもとに適切な支援計画をつくり、契約までサポートする。また、「生活支援員」は、契約内容にそって、定期的に訪問し、福祉サービスの利用手続きや預金の出し入れをサポートする。</p>
	16	①	<p><「精神保健福祉法」に規定された精神障害者の入院形態></p> <p>①精神保健福祉法第 29 条の 2 において、都道府県知事(指定都市の市長)は自傷他害のおそれのある精神障害者が入院治療を急速に要する場合、措置入院の条件を満たさなくても、知事等の指定する指定医 1 名の診察の結果に基づいて、72 時間に限って「緊急措置入院」をさせることができるとされている。</p>

介護の基本(16問)	17	②	<p><1963年(昭和38年)に特別養護老人ホームが創設された。当時のこの施設></p> <p>②1963年当時、養護老人ホームが、養老施設の流れを汲んで、経済的に困窮している高齢者を入所対象としていたのに対し、特別養護老人ホームは、心身の障害が著しいため常時介護を必要とするにもかかわらず居宅において養護を受けることが困難な高齢者を入所対象とした。</p>
	18	①	<p><社会福祉士及び介護福祉士法に規定された介護福祉士></p> <p>①社会福祉士及び介護福祉士法第47条第2項において、「介護福祉士は、その業務を行うに当たっては・・・福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない」と規定されている。</p>
	19	②	<p><右片麻痺のある人が介護老人福祉施設に入所した。その人の自己決定を尊重した入所当日の食事支援></p> <p>②本人の生活暦を参考にし、生活習慣を尊重することが大切である。</p>
	20	③	<p><排泄の自立に向けた入所当日の最初のかかり></p> <p>③本人に、尿意があれば、介護者に排泄の意思を伝えることができ、排泄の自立は可能である。信頼関係を築くことが基本となるので、最初のかかり方は重要である。</p>
	21	①	<p><ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health:国際生活機能分類)の背景因子を構成するもの></p> <p>①背景因子は、「環境因子」と「個人因子」の2要素で構成される。</p>
	22	④	<p><リハビリテーション></p> <p>④リハビリテーションの4領域は、(1)医学的リハビリテーション、(2)教育リハビリテーション、(3)職業リハビリテーション、(4)社会リハビ</p>

		リテーションである。
23	④	<p><介護予防訪問介護></p> <p>④基準省令第4条において、「指定介護予防訪問介護」の事業は・・・利用者の心身機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものでなければならない」とされている。</p>
24	②	<p><内閣府が2008年度(平成20年度)に実施した「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」></p> <p>②「活動に参加しなかった理由」は、「健康・体力に自信がないから」が最多の36.4%で、過去の調査と比較すると増加傾向である。</p>
25	②	<p><サービス提供責任者の対応></p> <p>②サービス提供責任者と介護支援専門員との密な連携は利用者にとって重要であり、また、在宅介護の継続のためには、EF両名の了解の下で、近隣住民の協力を得ることは不可欠である。</p>
26	④	<p><介護休業制度></p> <p>④育児・介護休業法第16条の5第1項において、「要介護状態にある対象家族の介護その他の厚生労働省令で定める世話を行う労働者は、その事業主に申し出ることにより、一の年度において5労働日(要介護状態にある対象家族が2人以上の場合にあつては、10労働日)を取得することができる」と規定されている。</p>
27	③	<p><地域密着型サービス></p> <p>③「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」第85条第1項において、「指定小規模多機能型居宅介護事業者は・・・運営推進会議を設置し、おおむね2月に1回以上、運営推進会議に対し通いサービス及び宿泊サービスの提供回数</p>

		等の活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない」と規定されている。
	28	① <介護サービス提供の場> ①「軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準」第 35 条において、「都市型軽費老人ホームは、その入所定員を 20 人以下とする。」と規定されている。
	29	⑤ <介護老人福祉施設> ⑤第 2 号被保険者は、要介護等の状態の原因となった心身の障害が、がん末期や初老期認知症、脳血管疾患等の老化に起因する 16 種類の特定疾病に該当する場合のみ、要介護・要支援の認定を受けることができる。
コミュニケーション技術 (8 問)	30	③ <民生委員> ③児童福祉法第 16 条に基づき、民生委員は、児童委員を兼ねることとされている。
	31	② <介護老人福祉施設で、やむを得ず身体拘束を行う場合の記述> ②「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」第 11 条第 5 項において、「指定介護老人福祉施設は、前項の身体的拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由を記録しなければならない。」と規定されている。
	32	⑤ <感染とその対策> ⑤ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、1 年を通して発生するが、特に冬季に流行する。
33	⑤ <介護職と利用者の家族との関係づくり> ⑤家族関係が複雑であったり、不安定であることも想定しておく必要がある。	

	34	②	<p><訪問介護員(ホームヘルパー)が夫との関係づくりのために、最初に行う対応></p> <p>②家庭のライフスタイルや家族内の人間関係などを理解し、認め、それに応じた対応をしていくことが重要である。</p>
	35	③	<p><家族が利用者本人の意向や状況を理解していないとき、両者の意向を調整するための、家族に対する介護職の言葉かけ></p> <p>③すり合わせを循環的に行っていく姿勢が求められる。</p>
	36	①	<p><認知症(dementia)の人とのコミュニケーション></p> <p>①混乱を起こしやすいので、「情報は簡潔に伝える」のは適切である。</p> <p>他に、「親しみを込めた話し方をする」、「大きな声で話す」、「ゆっくり話す」、「相手の話に関心を持って相槌をうつ」などの技術が重要である。</p>
	37	⑤	<p><抑うつ状態にある人に、介護職が初めてかかわろうとするときの、きっかけづくりの言葉かけ></p> <p>⑤相手がいろいろな話ができるような状況や雰囲気をつくるきっかけの言葉として、「今日は少し暖かくなりましたね」は適切である。</p>
	38	④	<p><統合失調症(schizophrenia)の人が、自分の妄想を話したときの介護職の対応></p> <p>④妄想への基本的な対応としては、本人にとっては真実なんだと周りが理解するが、否定も肯定もしないことが大切だとされている。</p>
	39	⑤	<p><ケアカンファレンス(care conference)></p> <p>⑤他職種の専門性と立場を理解した上で参加する。</p>
	40	①	<p><チーム内の連携></p> <p>①チームアプローチの質を向上するためには、互いに他の職種を尊重し、明確な目標に向かって、それぞれの見地から評価を行い、</p>

			力量に応じた裁量を持ちつつ、専門的技術を効率良く提供することが重要である。
生活支援技術(20問)	41	③	<p><家族に対する助言></p> <p>③認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱaの見られる症状・行動としては、たびたび道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等である。部屋になじみのものや写真を飾るのは、この段階では効果的であり、適切である。</p>
	42	⑤	<p><介護保険の給付対象となる住宅改修></p> <p>⑤住宅改修の内容は、手すりの取付け、段差の解消、滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更、引き戸等への扉の取替え、洋式便器等への便器の取替え等とされている。</p>
	43	④	<p><認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)の住環境></p> <p>④カーテン、アコーデオンカーテン、布製ブラインド、じゅうたん等は「防災物品」を使用する。</p>
	44	②	<p><義歯の取り扱い></p> <p>②歯磨き粉に含まれる研磨剤によって、義歯が磨り減ってしまう。</p>
	45	①	<p><移動補助具></p> <p>①ロフストランドクラッチ(ロフストランド杖)は、体重が分散しやすく、握力の弱い人や手首に力が入りにくい人に適している。</p>
	46	②	<p><視力障害のある人の移動の介護></p> <p>②バスに乗るときは、片方で介護者の肘を持ち、白杖で段差の高さを確認してから、介護者が先にステップを上がる。</p>
	47	④	<p><左片麻痺者の介護職の対応></p> <p>④「姿勢が左に傾いていた」ことに対する対策としては、適切である。</p>

48	④	<p><ベッド上での洗髪の介護></p> <p>④タオルでシャンプーの泡を綺麗に拭き取ると、すすぎが早くて利用者にも負担が少ない。</p>
49	①	<p><全身清拭の介護></p> <p>①片麻痺がある場合の側臥位では、健側を下にする。</p>
50	②	<p><高血圧症と心疾患の持病がある人の入浴の介護></p> <p>②高齢者や高血圧の人は、熱い湯につかると血圧上昇により、脳出血を起こす危険がある。また、一時的に血圧が上昇して血管が拡張した後、血圧が低下することで虚血性心疾患が生じやすくなる。したがって、「浴槽内の水位は、心臓より下にする」は適切である。</p>
51	②	<p><耳、鼻の清潔保持の介護></p> <p>②綿棒は必要に応じて 湿らせて使うのは適切である。</p>
52	②	<p><老人性掻痒症(pruritus sentilis)がある人の入浴の介護></p> <p>②石鹼は低刺激性の弱酸性のものを使用して、からだを洗う。</p>
53	④	<p><寝たきりの高齢者におむつを装着するときの基本></p> <p>④テープをとめる際には腹部とオムツの間に指が入る程度の余裕をもたせて、きつくなりすぎないようにする。</p>
54	⑤	<p><前立腺肥大症(prostatic hypertrophy)で留置カテーテルを使用している軽度の認知症(dementia)の人への対応></p> <p>⑤カテーテルは、陰茎ごと頭方向へ向け、腹壁に固定する。</p>
55	①	<p><便秘を訴える高齢者の排泄の介護></p> <p>①朝食後を含めて、腹圧がかけやすい座位前傾姿勢で便座に座るように促す。</p>

	56	⑤	<p><塩素系漂白剤を使って漂白する素材></p> <p>⑤塩素系漂白剤は、漂白力が強いので、色柄物には使用できないが、強いアルカリ性なので、綿・麻・ポリエステル・アクリル素材のみに使える。</p>
	57	①	<p><ビタミンD(vitamin D)が多く含まれる食品></p> <p>①ビタミンDは、魚に多く含まれる。なお、椎茸は、生の椎茸に比べて干し椎茸の方が、ビタミンDを多く含んでいる。</p>
	58	③	<p><施設で、介護職が深夜に巡回するときの注意点></p> <p>③本問は、国家試験の問題にふさわしいレベルであるか疑問である。</p>
	59	③	<p><介護老人福祉施設に入所している高齢者の終末期の対応></p> <p>③苦しみを理解し、本人の意向を中心に、できる限り要求や甘えに耳を傾け、応える。</p>
	60	②	<p><終末期の介護></p> <p>②終末期の苦痛と不安を和らげるために、穏やかな会話と時にはスキンシップも大切である。</p>
介護過程(8問)	61	③	<p><介護過程の展開></p> <p>③介護過程の目的は、利用者のよりよい生活の実現であり、利用者の意向など主観的な情報を含めたアセスメントが重要となる。</p>
	62	④	<p><食事の摂取量が急に減少した利用者のアセスメント(assessment)></p> <p>④アセスメントには、状況や言動を観察して、問題の所在を判断することが含まれる。</p>
	63	①	<p><ポータブルトイレで排泄することを目指して、介護計画を立案した場合の介護目標の記述></p> <p>①介護計画の目標は、実現可能なものであり、具体的に表現されることが望ましいとされる。</p>

64	①	<p><モニタリング (monitoring) の内容></p> <p>①モニタリングは、計画の実施状況を把握し、介護目標が達成されたかを点検する。</p>
65	⑤	<p><評価></p> <p>⑤その人にとっての適切な介護のための個別計画を展開し、評価するのであって、他の利用者の達成度と比較をすることは意味がない。</p>
66	②	<p><自宅のようすを観察したときの、客観的情報の記録></p> <p>②事実と感じたことを分けて書く。感じたことは、「・・・と判断した」と書く。</p>
67	②	<p><長期目標・短期目標に応じた支援内容・方法></p> <p>②長期目標と短期目標は、「歩く」という点において連動していなければならない。。</p>
68	④	<p><チームアプローチ (team approach)></p> <p>④チームアプローチにおいて、「利用者の主体性の尊重」は基本倫理である。</p>